

県関係団体経営改善計画(統一様式)

1 団体の概要(2021年4月1日現在)

| | | | |
|-----------|---|-------|---------------------|
| 名 称 | 公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団 | 担 当 課 | 保健医療局健康医務部 健康対策課 |
| 所 在 場 所 | 知多郡東浦町大字森岡字源吾山 1 番地の 1 | 電 話 | 0562-82-0211 |
| 設 立 年 月 日 | 1986 年 4 月 1 日(1961 年 8 月 28 日財団法人東海対がん協会設立) | 代 表 者 | 理事長 大参 澄夫 |
| 設 立 目 的 | 健康づくりの振興に関する事業を行うとともに、結核、がん及びその他生活習慣病等の疾病の予防、早期発見等に関する事業を行うことにより、県民の健康づくりを推進し、もって県民の保健及び福祉の向上に寄与することを目的とする。 | | |
| 主 要 事 業 | 健康づくり推進事業、健康診査・健康診断事業、特定健診・特定保健指導事業 | | |
| Web サイト | http://www.ahv.pref.aichi.jp/ahpf/index.htm | | |

2 経営の状況

| | | 2015 年度決算 | 2016 年度決算 | 2017 年度決算 | 2018 年度決算 | 2019 年度決算 |
|---------------|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 正味財産 増減計算書 | 経常収益(千円) | 1,432,721 | 1,438,248 | 1,597,257 | 1,619,762 | 1,536,486 |
| | 経常費用(千円) | 1,429,519 | 1,457,862 | 1,553,083 | 1,602,156 | 1,548,158 |
| | うち県の委託に係るもの(千円) | 455,523 | 459,662 | 454,133 | 452,600 | 436,296 |
| | 当期経常増減額(千円) | 3,201 | △19,614 | 44,174 | 17,606 | △11,672 |
| | 当期一般正味財産増減額(千円) | 3,134 | △19,733 | 44,105 | 17,562 | △12,317 |
| 貸借対照表 | 資産合計(千円) | 1,531,192 | 1,509,851 | 1,635,812 | 1,693,172 | 1,616,470 |
| | 負債合計(千円) | 547,405 | 525,303 | 611,399 | 655,437 | 595,291 |
| | 正味財産合計(千円) | 983,787 | 984,548 | 1,024,413 | 1,037,735 | 1,021,179 |
| | うち一般正味財産(千円) | 604,287 | 584,555 | 628,659 | 646,222 | 633,905 |
| 県の関与の 状況 | 県からの借入金残高(千円) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県からの補助金(千円) | 6,929 | 7,106 | 7,034 | 7,307 | 7,367 |
| | 県からの委託料(千円) | 522,331 | 518,939 | 481,895 | 498,473 | 492,405 |
| | 県からの損失補償に係る債務残高(千円) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県からの債務保証に係る債務残高(千円) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

3 役職員の状況(2020年3月31日現在)

| | |
|--------------------|-------|
| 常勤役員総数(人) | 3 |
| うち愛知県退職者(人) | 2 |
| うち愛知県出向者(人) | 1 |
| 常勤役員1人あたりの平均報酬(千円) | 5,935 |
| 正職員総数(人) | 77 |
| うち愛知県退職者(人) | 1 |
| うち愛知県出向者(人) | 2 |
| 正職員平均年齢(歳) | 44.1 |
| 正職員1人あたりの平均年収(千円) | 5,872 |

4 出資の状況(2021年3月31日現在)

| | |
|-------------|---------|
| 基本財産(千円) | 379,500 |
| うち県出えん額(千円) | 300,000 |
| 割合(%) | 79.1 |

5 団体の役割と課題

【役割】

- 健康づくりと生活習慣病の予防及び結核の予防に関する各種事業活動を通じて、県民の保健及び福祉の向上に寄与し、健康で活力ある社会の実現を目指す。
- 年齢、健康状態、居住地域を問わず、「すべての県民に健康を」を目指して公益性の高い事業を展開する。
- 県民の健康づくり支援の拠点であるあいち健康の森健康科学総合センター(愛称:あいち健康プラザ)の指定管理者として蓄積された経験・ノウハウを活かし、健康日本21 あいち新計画の基本目標である「健康長寿あいちの実現」に貢献する。

【課題】

- 健康に関する幅広いニーズに対応するための事業の多様化と強化
- 効率的な運営体制の強化
- 健康づくりの実践活動や研究を通じて得た経験と知見に基づく先進的で付加価値の高い事業の開発と実施
- 安定的な事業収入の確保

6 経営改善方針（2021年度～2025年度）

健康寿命の更なる延伸を目指し、「健康長寿あいちの実現」のため、健康づくりと生活習慣病、結核・がん等の予防に関する活動を通じて、県民の保健・福祉の向上に寄与し続けていく「健康づくりのトータル・コーディネート」を行う機関として、中長期を見据えた経営の安定を目指してマネジメントサイクルに沿った堅実な運営を行い、公益性と経営の健全性の両立を目指す。

【法人運営】

- ・県民サービスの更なる向上を図るため、新たな健康づくりに関する需要への対応や個人情報の保護に関する取り組みを進める。
- ・事業の多様化と強化を図るため、環境の変化に柔軟に対応できる組織づくりを進める。

【公益性】

- ・愛知県健康づくりの拠点として、研究開発事業の成果を基に、先進的な付加価値の高い事業を一層進めていく。
- ・あいち健康プラザの運営、特定健診・保健指導事業や市町村の健康づくりへの支援事業を通じて、県民の健康づくりに貢献する。
- ・民間企業が参入しないような対象・地域への支援を行う。

【経営の健全性】

- ・あいち健康プラザにおいて、公益性を保ちながら、利用者数・受診者数の増加を図り、安定的な事業収入の確保に努める。また、指定管理者として共同体を組んだ民間事業者の運営手法を活用して、運営体制の強化を進める。
- ・事業団に蓄積された保健指導・健康づくりの技術等をもとに、自主的な事業についても積極的に取り組み、財源の確保に努める。
- ・総合健診センターにおいては、がん検診事業の段階的撤退により収支改善を図るとともに、多様なニーズに対応した顧客満足度の高い健診体制で事業を実施し、各年度の状況に応じた事業収入の確保に努める。

7 主要事業・取組の内容

| 主要事業・取組名 | 内容（継続・新規の別、実施予定年度） |
|--|--|
| 【法人運営】 ○安定的な事業収入の確保 ○環境変化対応に向けた組織づくり ○外部委託等契約方法の見直し ○団体固有職員の人材育成 ○非常勤職員の活用 | <ul style="list-style-type: none">○ 営業の強化やニーズに沿った事業展開等による安定的な事業収入を確保する。（継続、毎年度） ⇒ 指標①:事業収入 財務指標 継続○ 各職員が経営参画意識を持って業務に従事できる組織づくりを進める。（継続、毎年度）○ 職員の年齢や職種、能力育成を考慮した合理的かつ柔軟な組織づくりを進める。（新規、毎年度）○ 委託内容の精査、入札制度の活用等を通じ経費の節減に努める。（継続、毎年度）○ 経営の状況や県及び他団体の状況を考慮しつつ、人材の育成・活用を促進するための人事制度等を検討する（継続、毎年度）○ 事業の状況に応じ非常勤職員の活用を引き続き行う。（継続、毎年度） |
| 【公益性】 ○先進的な付加価値の高い事業の実施 ○民間企業が参入しづらい地域への取組み | <ul style="list-style-type: none">○ あいち健康プラザでは、実践活動や研究を通じて得た知見の下、質の高いプログラムを開発し、県民の健康づくりに寄与するとともに、市町村の健康なまちづくりを支援する。（継続、毎年度）○ 健康日本 21 あいち新計画の評価・見直し、次期計画作成に至る役割を遂行することで県行政に寄与する。（継続、毎年度）○ 特定健診・保健指導、宿泊型保健指導事業等、多職種集団による専門性の高い保健指導の推進に取り組む。（継続、毎年度） ⇒ 指標⑤:特定健診・保健指導実施人数 継続○ 市町村の健康づくり推進のため、健康づくりボランティアの養成と活動を支援する。（継続、毎年度）○ データヘルスや健康経営の推進に向けて保険者や企業を支援する。（継続、毎年度）○ 新たに開発した後期高齢者向けの健康度評価の実施など、新たなニーズを捉えた独創的な事業に取り組む。（新規、毎年度）○ 研修会や保健指導にオンラインを活用し、時間・場所・人数の制約を受けない自在性の高い事業を展開する。（新規、毎年度）○ 総合健診センターでは、地区診断を実施し、市町村や医療保険者の保健事業の企画立案を支援する。（継続、毎年度）○ オンラインを活用した事業により、へき地山間地域においても施設と同等の支援を提供できる体制を整備する。（新規、毎年度）○ へき地山間地域における事業の効率性と費用対効果を考慮した適切な体制のもとに健診を実施する。（継続、毎年度） |

| | |
|--|--|
| ○情報公開の推進 | ○ インターネット等を活用した業務内容や施設情報等の公開を積極的に進める。(継続、毎年度) |
| 【経営の健全性】 ○運営体制の強化 ○設備更新 ○健診体制の検討 ○あいち健康プラザの事業の活性化 ○自主的事業の推進 ○健診の質の向上及びニーズへの適応 | ○ あいち健康プラザの指定管理者として共同体を組んだ民間事業者の迅速な事業展開や効率的な事業費執行などの運営手法を活用して、運営体制を強化する。(継続、毎年度) ○ 事務所の統合や事業連携の強化について、問題点の整理を検討する。(継続、毎年度) ○ 安定的な事業運営を図る上で、費用対効果に即した設備更新を行う。(継続、毎年度) ○ がん検診事業からの段階的撤退に伴い、他の健診事業での質の高い健診体制づくりを検討する。(新規、毎年度) ○ 健診事業と特定健診・保健指導事業の一体的実施の推進ができるよう検討する。(継続、毎年度) ○ 医学的情報や体力検査・生活習慣情報をもとにした魅力あるプログラムの提供をするとともに、健康に不安のある方に対する安全で満足度の高い健康づくり支援を実施する。(継続、毎年度) ⇒ 指標②:健康度評価利用者数 継続 ⇒ 指標③:健康づくり教室利用者数 継続 ⇒ 指標④:トレーニング施設利用者数 継続 ○ 科学的な評価に基づく継続的なプログラムの改善を行う。(継続、毎年度) ○ 後期高齢者向けの健康度評価の活用、あいちオレンジリーダーの養成など、認知症対策と関わりの深い事業を展開していく。(新規、毎年度) ○ 子どもからお年寄まで楽しく最新の健康科学について学べる機会を提供する。(継続、毎年度) ○ 研究開発事業により開発・蓄積された保健指導・健康づくりの技術をもとに、自主的な事業への積極的な取り組みを行う。(継続、毎年度) ○ 各種専門技師を育成し、最新検査装置を導入して健診の質の向上を図る。(継続、毎年度) ○ 顧客から提案される様々な要望に柔軟に対応した健診を実施する。(継続、毎年度) ⇒ 指標⑥:健康診査・健康診断受診数 新規 ○ 厚生労働省が掲げる「がん検診受診率 50%達成」の一端を担うべく、県民のがん検診受診率向上に努める。(継続、毎年度) |

8 指標と数値目標（計画期間：2021年度～2025年度）

| 指標 | 年度 | 2019 実績 | 2020 実績 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 目標値の説明 | | | | | | |
|----------------------------|----|------------|------------|----------------|----------------|---|----------------|----------------|--|--|--|---|--|--|---|
| | | | | 上:目標値 下:実績値 | 上:目標値 下:実績値 | 上:目標値 下:実績値 | 上:目標値 下:実績値 | 上:目標値 下:実績値 | | | | | | | |
| ①事業収入(千円) 財務指標 継続 | | 736,175 | — | 771,768 — | 711,459 — | あいち健康プラザの指定管理期間が2023年3月31日までであることから、2022年度までの目標値設定となっている。 | | | 2021年度は2019年度実績の4.8%増、2022年度は2019年度実績の96.6%を維持(がん検診からの撤退を加味) | | | | | | |
| ②健康度評価利用者数(有料)(人) 継続 | | 12,479 | — | 16,000 — | 16,000 — | | | | あいち健康プラザの指定管理期間が2023年3月31日までであることから、2022年度までの目標値設定となっている。 | | | 過去の実績を踏まえ、前回計画の2019年度目標値(16,000)を維持 | | | |
| ③健康づくり教室利用者数(有料)(人) 継続 | | 11,809 | — | 14,000 — | 14,000 — | | | | | | | あいち健康プラザの指定管理期間が2023年3月31日までであることから、2022年度までの目標値設定となっている。 | | | 過去の実績を踏まえ、前回計画の2019年度目標値(14,000)を維持 |
| ④トレーニング施設利用者数(有料)(人) 継続 | | 66,784 | — | 68,000 — | 68,000 — | | | | | | | | | | あいち健康プラザの指定管理期間が2023年3月31日までであることから、2022年度までの目標値設定となっている。 |
| ⑤特定健診・保健指導実施人数(人) 継続 | | 1,014 | — | 1,320 — | 1,350 — | 1,380 | 1,410 | 1,450 | | | | | | | |
| ⑥健康診査・健康診断受診数(件) 新規 | | 325,020 | — | 452,400 — | 452,400 — | 439,800 | 439,800 | 351,800 | 2019年度実績の8.2%増 | | | | | | |

《指標・目標値設定の考え方》

- 指標①:健康科学総合センター事業収入、健康づくり事業収入及び総合健診センター事業収入の合計。なお、総合健診センターにおけるがん検診事業からの段階的撤退の影響等により減少している。
 - 指標②③④:指定管理者申請書に記載した指標及び目標値である。
 - 指標⑤:あいち健康プラザにおけるメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導の実施人数。毎年度30名程度の増加を見込み、2025年度は2019年度実績の43%増とする。
 - 指標⑥:総合健診センターが実施する地域健診、学校健診及び職域健診の件数。2019年度実績からの増加は、職域健診での健診項目の増加を反映している。2023年度からは、検診車の一部廃車やがん検診事業からの撤退の影響を受け、地域健診及び職域健診の件数が減少することを考慮した目標値としている。
- ※ 指標①～④の2023年度以降の目標値については、当該期間の指定管理者として選定された段階で設定を行う。

9 経営改善計画に対する県所管局の意見

- 公益財団法人として、市町村、職域への技術支援、県民の保健・福祉の向上に積極的で効率・効果的な事業展開が実施できるよう、法人のさらなる効率的な運営が望まれる。
- あいち健康の森健康科学総合センターは「健康日本21 あいち新計画」の中で、県民の健康づくりを支援する中心施設として位置づけられており、当団体は指定管理者として共同体を組む民間事業者の運営手法を活用し、相互に連携することで、運営体制の強化を継続的に行っている。2022年度までの指定管理においても引き続き同共同体が行うことから、これまでの管理運営実績を活かし、更なる経営の効率化とサービス向上に適切に取り組んでいくことが期待できる。県としても、より安定的な経営が行われるよう引き続き支援していく。
- 当団体においては、「あいち健康プラザ見直し基本構想」(2017年3月)において進めていくこととされている、生活習慣病予防のノウハウなどを活かした、認知症予防を中心とした取組に着手しており、今後も、関係団体と連携し、一層の取組推進が図られるよう、県として支援していく。